

# パンデミックワーキングⅡ 成果報告

厚木高校A班

## 《発表内容》

私たちは”全世代に正しく平等な情報を伝えるには”というテーマを高校生のワクチン接種率の視点で考えました。高校生（私たち）にとって政府が発信するSNSは面白くない。情報が知りたくてもPDFの文章は長すぎてそれでは情報が伝わりにくいのではないか。だから発信に工夫をしたい。私たちが投稿するならどんなものなのか、”どんな投稿なら高校生に情報を伝えられるのか”を考えました。そして、SNS発信も含めて情報を伝える研究を専門とする機関を作る提案をしました。

## 《今回の発表で何を伝えたかったのか》（発表の目的）

- ・私たちが高校生はSNSを使うことで情報を伝えられると考えたこと
- ・高校生が参加するイベントの開催が私たちにとって良い刺激になる事
- ・情報発信には伝える側の工夫と、受け取る側が正しい情報を受け取る努力が必要なこと。

## 《今回取り組んでみて、よかったこと、学んだこと、成長できたこと》

他の高校の生徒や、三菱総合研究所の方々など、様々な人と関わることができて良かったです。今回の取り組みを通じて政府の活動について興味を持つことができ、他の取り組みについても調べようと思いました。また、見やすいスライドの作り方や、伝わりやすい発表の仕方を学ぶことができて良かったです。今回の経験から学んだことをこれからの学校での活動や他の課外学習の場で活かしていきたいと思います。

## 《今回の感想や振り返り》

1年生Kさん

慶応義塾大学の教授の方にご指摘をいただいた、人前での発表方法は改善点だと感じています。人への話し方、気持ちの伝え方をよく考えたいです。また、他校の生徒と知り合うことができました。懇親会では、このプロジェクトに携わる専門家の方が普段何をされているのかを聞くことができ、よい刺激を受けられました。話をお聞きした教授の方はスマートフォンのセキュリティに関する研究をされているすごい方でした。コロナウイルスの政策に関わっている方との交流ができたので、どの分野の研究がプロジェクトにどう役に立っているのだろう。と、興味を持って参加していました。専門家の方々の話を聞いていて、多くのことを考え、試行錯誤をして、パンデミックワーキングⅡも狙いがあって高校生向けで企画されていたことに気づき、感銘を受けました。このワーキング全体を通して、専門家の方に検討段階からサポートをしていただきました。成果発表会では、私たちの考えを真剣に聞き、講評をいただいたので、とても有意義な時間を過ごせたと感じています。本当にありがとうございます。グループとして同じ課題に向き合って解決に向かって話し合うことは、来年のヴェリタスにも共通する部分があると思います。多くの方々のご協力でこのような経験ができ、とてもうれしいです。参加して良かったと心から思えました。

### 1年生Mさん

普段の授業でも与えられたテーマについて話し合う時間というものはあるのですが、テーマを自分たちで考えて、それについて答えに近いものを見つけていくというのは難しかったのですが、とても貴重な経験になりました。政府関係の方々や他の高校の生徒の方々の前で発表するというのはとても緊張することで、責任感もありましたが、これまで3人でやってきたことを思い出して、自信を持って最後までやりきることができました。この経験はこれからも生きてくると思うので、これからも様々なことに挑戦したいです。

### 1年生Hさん

グループのメンバーで一つのテーマに沿って長期的に考えるというのは私の中で凄く貴重な経験になりました。難しいテーマではありましたが、他校の人や大学の先生などの前で発表するということもあり、プレッシャーもありましたが、3人で協力したからこそ出来たことだと思います。また、他校の方々や大学の先生、新型コロナウイルスが蔓延した時に対策に当たっていた先生方などと話すことができ、良い経験ができたと感じます。この経験を糧に、二年次でもたくさんの企画に参加したいし、ヴェリタスでの探究活動にも積極的に取り組んでいきたいです。



千代田区に立ち並ぶビル群  
(右は会場の三菱総合研究所東急キャピトルタワー)

国会議事堂前を探索

